

ひろまちだより

Hiromachi Ryokuchi Park in City of Kamakura

contents

特集	モリアオガエル
連載	樹木区日誌
祭事	藍染め教室 etc
ほか	熱中症にご注意

木に泡をぶら下げるのはだれだ



ハンゲショウ(上)ヤマユリ(左下)ヘイケボタル(右下)



ひろまちだより 2019年6月号

発行 鎌倉広町パートナーズ

鎌倉広町緑地管理事務所
鎌倉市津 1133 TEL: 0467-32-5112
<http://www.kamakurahiomachi.com/>



デザイン・編集 向田智也

樹上にあらわれたモリアオガエル



オスが足でこねるように球形の泡巣をつくる。
中には受精卵が入っている

樹上に泡巣（卵塊）を産むモリアオガエル

Frog that lays eggs on the tree

水面にせり出した木の上に白い泡巣（卵塊）をつくることで知られるモリアオガエル。同じ緑色をしたニホンアマガエルより、ひとまわり大きく、吸盤も立派です。体色には変異があり、斑紋のないものもあります。広町緑地では、6月から7月にかけて、田んぼのまわりなど、水辺の木に泡巣をつくります。



樹上に産みつけられた泡巣



①



②

①おもに森林に生息し、繁殖期に水辺に集まってくる。カララ、コロコロと甲高い声で鳴く。日中に樹上で休む姿を見かけることもあるが、繁った木々の葉にまぎれてなかなか見つからない。②夜になり、活発に動きはじめるモリアオガエル

ウッディぴろしの樹木区日誌



Vol.1
タブノキ
(クスノキ科)

広町緑地の尾根筋では、低地帯で優占的に育つ常緑広葉樹が多く見られます。タブノキは、そうした常緑広葉樹の代表種のひとつで、特に海に近いエリアによく生育します。

タブノキの硬くつやのある葉は、広町でもよく見られるアオスジアゲハの食草になり、春先に展開する新芽は赤く、とても目立ちます。緑地内には、巨木といえるほどの大きな木だけではなく、種から育って数年の小さな株もあります。葉に大きな特徴がないために、見過ごしがちな木ではありますが、タブノキを観察することで、広町緑地の自然の遷移を感じてみてください。



樹高約15~20m、樹冠は大きく広がる



てかてかした、だ円形の葉



葉の裏側は白っぽい

イベント情報

夏休みはイベントとして、里山さんぽ「夜の昆虫観察（8月3日）」、「夏のチョウ観察（8月24日）」を行うほか、8月25日には講座として「藍染め教室」を開催します。

「藍染め教室」は先着順となりますので、予約状況など、詳細については鎌倉広町緑地管理事務所までお問合せください。*里山さんぽは自由参加です。（参加費200円）



夜の昆虫観察のライトトラップ

管理事務所よりお知らせ

夏から秋にかけ、スズメバチなど危険な生き物の活動がさかんになります。緑地を散策する際は、肌の露出をなるべく避けるなど、十分ご注意ください。スズメバチやマムシなど危険生物を見かけた時は、管理事務所までご一報ください。